

フィールド名

おまちフィールド

フィールドテーマ

おまちを中心とした静岡市内のにぎわい創出

メンバー

(地域経営) 3年：井上文誉

：沖山寿幸

(アート & マネジメント) 3年：漆畑 璃々花

指導教員：(准教授) 原 瑠璃彦

(客員教授) 平岡 義和

フルドワーク実施協力者

おまちバル実行委員会

アップスカイ株式会社

地域概要

おまちバルとは、「おまち」と呼ばれる呉服町、両替町、七間町、常盤町、紺屋町を中心に開催されるイベントである。

静岡市に飲食店が多いことに注目し、格安に販売するチケットを利用して、参加している店舗をめぐってもらうことを通して、にぎわい創出を図っていかうという取り組みである。

その活動に協力する中で、2020年の秋からは、若い人の参加が少ないことに着目し、チラシの作成、Instagramの開設などの広報活動を中心に活動している。

これまでの活動

【2021年度】

- ・ オール静岡春バルWeek
学割キャンペーンのプロモーション
- ・ 静岡クラフトビアバル
市内のブルワリーのインタビュー記事作成

【2022年度】

- ・ オール静岡春バルWeek
学割プロジェクトのプロモーション
- ・ 秋の甘味巡り スイーツ小町
学生主体イベントの企画運営
- ・ オール静岡秋バルWeek2022
着物を着用しプロモーション

【2023年度】

- ・ 静岡秋バルめぐり2023
Instagramでの広報の開始
プロモーション動画の作成



静岡おまちバル【公式サイト】：omachibar.com



2021年度オール静岡春バルWeek



2022年度スイーツ小町



2022年度オール静岡秋バル
着物deバル



2023年度静岡秋バルめぐり
プロモーション動画



2023年度静岡秋バルめぐりInstagram投稿画像

2024年度の活動について

【第25回静岡おまちバル】

今年度、新たに静岡のSNSマーケティング支援会社「アップスカイ株式会社」の協力のもと、学生向けのSNSプロモーションの一環としてInstagram投稿作成を実施した。

表紙の投稿に場所を大きく入れる、キャッチフレーズを親しみやすいものにするなど投稿内容にこだわった。

また、ストーリーズでの定期的な配信を行い、「アカウントを動かし続ける」ことを意識した。

【第26回静岡おまちバル feat. French Bar】

前回のバルでの活動を踏まえて更に、アップスカイ社のInstagram運営における、バズを狙う手法やストーリーズ・いいね機能を活用したアプローチ方法など、個人SNSでは得られない公式SNS運用のノウハウを学んだ。

若者向けの投稿デザインを見直し、「静岡の学生が飲食店を紹介する」アカウント運営者のコンセプトを再設定した。バル当日の抽選会では、アンケート回答と共にInstagramのフォローを促すことで、多くのフォロワーを獲得することができた。

【今年度の活動を振り返って】

年度を重ねるごとに「若者から関心を集める方法」を見直し、昨年度から今年度にかけてはInstagramを活用したアプローチ方針を定め、SNSプロモーションの手法をアップスカイ社の協力のもと本格的に学ぶことができた。

その結果、約400人のフォロワーを獲得することができ、今後のおまちバルの活動につなげる重要な基盤を築くことができたと考えている。



第25回でのInstagramの投稿画像



第26回でのInstagramのアカウントと投稿画像



第26回静岡おまちバルfeat.French Bar抽選会

これまで取り組んできたフィールドワークを振り返って

【学生メンバーの反省・感想】

井上：おまちバルに関わり、地域の店舗や運営の方と連携して地域活性化に関わることができて良い経験になったと考える。また、Instagramでの発信を通してSNS発信の重要性などを学ぶことができ、デジタルの発展に伴う新しいコミュニティの形成に触れることができたと考える。

漆畑：公式SNSを運用する中で責任感を持って活動に取り組むことができ、個人のIllustrator編集技術を向上させることができた。また、フィールドワークを通じてイベント運営のノウハウを学び、大きく成長することができた。

沖山：おまちバル実行委員会の方々や先輩からフィールドワークについて学び、イベント運営やSNSプロモーションに協力でき、様々な方との協力関係を築くことの重要性や自分たちの役割を予定通りに完了することの難しさを実感できた。